普及活動情勢報告（令和７年３月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

## 農薬の上手な使い方知っちゅう？　～韮生の里栽培講習会～

実演を興味深く見る
参加者

２月20日、協同組合韮生の里が栽培講習会を開催し、生産者17名が参加しました。

韮生の里は、来年度から放送される連続テレビ小説「あんぱん」による集客が見込まれる、注目の直販所です。農業改良普及課は「農薬の上手な使い方」と題して、農薬の選択から、混ぜ方、かけ方、抵抗性の発達などについて説明をしました。また、展着剤の効果を実演形式で解説しました。

「同じやるなら、効かせられなきゃ損」をコンセプトの説明に聞き入り、薬害についての質問や「今まで使ってなかった展着剤を使ってみる」といった声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も直販所生産者の活動を支援します。

## 全国から来場！　～トルコギキョウ生産者交流会in高知　現地視察～

試験ほ場の視察の様子

２月20日、トルコギキョウ生産者交流会の現地視察が香南市のほ場で実施され、管内を含む生産者や種苗会社、市場など全国から100名を超える参加がありました。

農業改良普及課は、視察ほ場で実施した品種比較試験の結果をほ場内に掲示し、来場者への説明を行いました。

参加者からは「病害の発生による欠株がほとんどなくて驚いた」、「次作の品種を決める際に調査結果を参考にしたい」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も管内外の生産者の交流を深める取組を支援し、栽培管理技術向上に努めます。

## 農家委員の声を活かした普及活動へ　～第２回中央東地区農業改良普及推進協議会～

活動成果や次年度計画
について協議

２月 27 日、香美農林合同庁舎において、農家委員（８名）及び関係機関、 農業改良普及課職員計 37 名が出席し、令和６年度第２回中央東地区農業改良普及推進協議会を開催しました。

農業改良普及課からは令和６年度の普及計画実績及び７年度の計画の概要について説明しました。

農家委員からは、「担い手育成のため指導農業士の研修会を実施している。関係機関の職員にも足を運んでもらいたい」、「担い手育成センターに担い手確保のアピールをしたい」など担い手確保・育成に関する要望がありました。

また高温対策に関する質疑応答から、農家の関心の高さと喫緊の課題であることが改めて示されました。

農業改良普及課は、委員からの意見を参考に関係機関と連携し、目標達成に向けて、普及活動に取り組んでいきます。

## 骨格枝を明確にしよう　～物部柚子生産部会せん定講習会～

せん定実演をする
普及指導員

２月28日、ＪＡ高知県香美地区物部柚子生産部会せん定講習会が開催され、28名が出席しました。

農業改良普及課は骨格枝が多すぎると樹形の複雑化につながり、作業性の悪化や品質の低下を招く原因にもなることを解説しつつ、主枝や亜主枝の本数を制限するようせん定指導を行いました。

参加者は「思い切ったせん定をせんといかんがやね」、「ええ感じになった！」など納得され、せん定について理解が進みました。

農業改良普及課は、これからも栽培管理技術の向上に向けて支援します。

## 今作の試験内容は？　～農業技術センターナスほ場の視察～

研究員との意見交換の
様子

３月４日、ＪＡ香美地区園芸部ナス部会のデータ駆動型農業に取り組む若手生産者１名とともに農業技術センターでの視察研修を行いました。

先端生産システム担当研究員から試験内容の説明を受け、意見交換を行いました。生産者からは「一芽切り戻しを実施する時期はいつか」「定点カメラやドローンで出荷予測は可能か」など多くの質問がでました。

農業改良普及課からは、整枝方法や肥培管理について生産者と意見交換をしながら改善点を指導しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と協力し、ナスの生産安定に向けた栽培指導と技術向上にむけた支援をしていきます。

## 地域の担い手となるリーダーを目指して
## ～青年農業士中央東ブロック協議会総会を開催～

総会後の研修会の様子

３月18日、中央東農業振興センター大会議室で、総会及び研修会が開催されました。総会には、青年農業士22名が出席し、令和６年度の活動実績及び令和７年度の事業計画について協議しました。

総会終了後には、当センターの職員が講師となり、「労務管理」をテーマとした研修会を行いました。

青年農業士からは「今後、雇用が必要と考えていた中で、賃金支払、休憩、休日等のルールが聞けて良かった」、「従業員に長く働いてもらうためにも、職場環境をもう一度見直そう」などの声が聞かれ、実のある勉強の場となりました。

農業改良普及課は、今後も青年農業士が地域の推進力となる農家に成長するために、活動を支援していきます。